

■ 手続サクサクプロジェクト(事業者データベース)とは・・・？

東京都では、事業者情報の一元化により手続等のワンスオンリーを実現する「手続サクサクプロジェクト」を進めています。

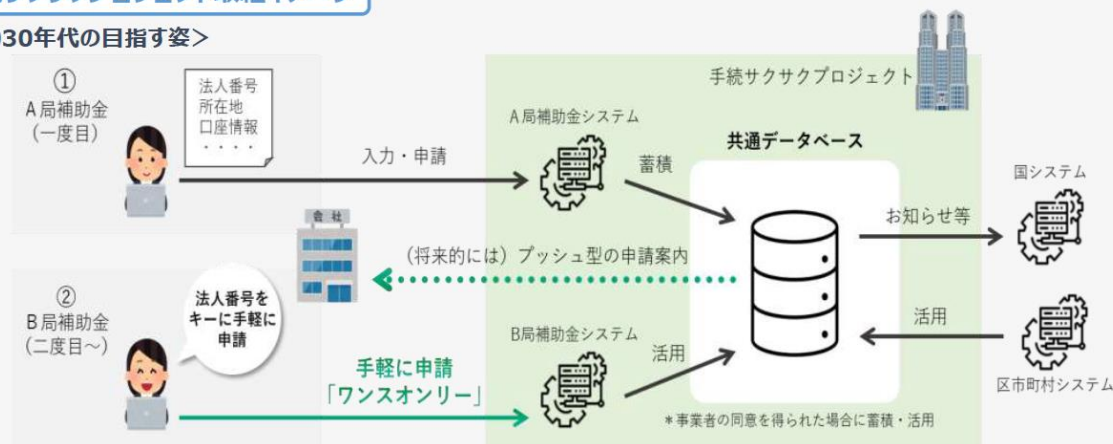
その一環として事業者情報を蓄積・連携する東京都版事業者ベース・レジストリ(以下「事業者データベース」という。)を構築しており、全庁の手続等で事業者データベースを活用することで、手続のワンスオンリーによる利用者の利便性向上と事務の効率化に向けて取り組んでいます。

ワンスオンリー実現に向けた展開開始（手続サクサクプロジェクト）

事業者による法人番号や所在地など法人情報入力の手続を実現するため、まずは、補助金等事業において一度申請された事業者情報が蓄積される共通データベースを構築し、次回以降の申請時に活用することで、事業者の負担軽減、審査等手続全体の効率化を図る

手続サクサクプロジェクト取組イメージ

<2030年代の目指す姿>



■ 今回、補助金申請システム「Jグランツ」を利用して申請された際、手続サクサクプロジェクトのご参加に同意いただけましたら、下記の情報を事業者データベースに登録します。

【東京都が収集・利用する情報】

- ①事業者基本情報(事業者識別番号(法人にあっては法人番号、個人にあっては事業主管理番号)、商号又は名称商号、本店所在地又は住所地)事業所情報(事業所名称、屋号、所在地、電話番号)
- ②電話番号
- ③振込口座情報(金融機関名、支店名、預金種別、口座番号、口座名義人)



次回の補助金申請から、事業者データベースに登録された情報の入力作業が不要になります！

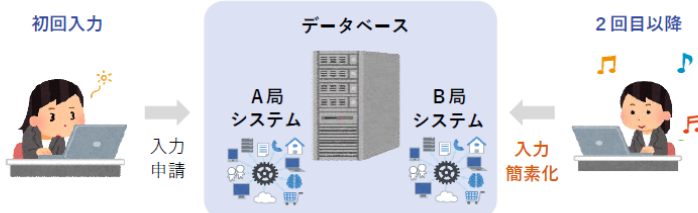
Before

事業者の情報が一元管理されておらず、事業者は補助金等の申請の都度、データの入力が必要



After

事業者情報を蓄積するデータベースの構築により申請時のワンスオンリー※を実現



※ 行政機関に一度提出した情報は、二度の提出を不要とするもの

「手続サクサクプロジェクト」のご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。